

第 72 回日本 PTA 全国研究大会・第 56 回関東ブロック研究大会  
川崎大会 報告

開催日程	2024 年 8 月 23 日(金)・24 日(土)
場所	川崎市とどろきアリーナ
横浜からの 参加人数	延べ 105 名(1 日目 60 名・2 日目 45 名) ※参考:第 71 回広島大会の横浜市 P 連参加人数は 45 人
報告事項	
<p><b>【概要】</b></p> <p>大会スローガンは、「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう『縁』の力～」。例年のように全大会・分科会で会場を分かれることなく、今回は 1 会場ですべて実施。基調講演など、各セッションの間に、参加者は近くに座っている、別 P 連の人たちと 4 人程のグループを組み、学んだこと、感じたことを共有。最終的に参加者それぞれが、今後の PTA 活動に活かせるような「個人宣言」としてまとめていった。</p> <p>横浜市 P 連にとって、今回の大会は近隣での開催。実行委員会からの要望もあり、理事に限らない、単 P 会員にも参加枠を拡大して今までよりも多い参加を呼びかけた。対応のために、申し込みの集約も横浜市 P 連で行い、当日も横浜市 P 連専用の受付場所を設置。QR 二次元コードで事前申し込みを募った。</p> <p>●.....●</p> <p>※プログラム詳細、使用資料については、大会 HP 参照※ <a href="https://www.ptakawasaki.group/r6-kawasaki-conference/curriculum/">https://www.ptakawasaki.group/r6-kawasaki-conference/curriculum/</a></p> <p><b>【Day1】</b></p> <p>●特別第 1 テーマ</p> <p>「全国の PTA の縁をいかし力強く進める教育環境改善への提言～PTA の真の役割とは。ウェルビーイングな社会教育の促進～」</p> <p>→現日 P 会長の太田氏が「人と社会の未来研究員」の内田京都大学教授と対談。「PTA とは何なのか」「PTA 活動における子どもたちの幸せに加えて、“大人の幸せ”とは?」、「ウェルビーイングとは?」「あなた自身がどうなっていたら最幸ですか」を参加者に問う場。</p> <p>●全体基調講演</p> <p>「誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて～全ての子供たちに「生まれてくれてありがとう」を届けよう!～」</p> <p>→「認定 NPO 法人フリースペースたまりば」理事長の西野氏による講演。学校での「いじめ」が報告されるピークが早くも小 2 の段階で来てしまうことが、不登校件数が減らない背景にあること。親も「正しい親」になろうと焦ってしまう中、「ゆる親」になることも必要という話があった。</p>	

## ●特別第 2 テーマ

「大人が変われば子供も変わる！ウェルビーイングの社会実装から学び保障の政策を社会に根付かせることの大切さ～」

→文科省が展開する、学校環境における「COCOLO プラン」を、同省初等中等教育局から土屋係長が紹介。児童生徒一人一人に応じた多様な学びへの考え方や、学びの場を保障する取り組みであることの説明があった。一方で、「トーキョーコーヒー」代表の吉田田氏からは、教育の均質化に違和感をおぼえる子ども達への対応や、大人の理解や価値観に焦点をあてた「トーキョーコーヒー」の活動を紹介。前述の西野氏とあわせて、パネルディスカッションが繰り広げられた。

## ●セッション①

「多様性を認め合う心豊かな社会を目指して～違いに気付きワクワクする人間関係が活動の力に！～」

→元川崎市立宮前区 PTA 協議会会長の上村氏をまじえて、あらためて「今日の時間が終わった時、どうなっていたら最幸か」を、参加者一人一人が振り返る場となった。

## 【Day2】

### ●関東ブロック研究大会

→川崎大会開催の感謝状授与式や、次の関ブロ大会主催の長野県 P 連から、アピールセッション。

### ●セッション②

「子供たちと一緒に自己肯定感を高め合う家庭教育の大切さ ～子供たちへの報酬は『ほめること』。もっと親の力を発揮しよう！～」

→人の性格は生まれもった部分も多い中、育てる環境の中で子どもの自己肯定感を育むために親は何ができるのか。子どもを褒めること、そして「ほめ写」の効果を教育評論家の親野智可等氏が紹介。その後、具体的な実践事例を、川崎市立南加瀬小学校PTA会長のクローラン氏が紹介。

### ●セッション③

「地域や社会に広げるウェルビーイング！住み続けたいまちへ ～全国大会ならでは！各ブロック大会等の活動事例から共に学ぼう～」

→PTA が地域と取り組んで実現している活動の事例紹介。川崎市 P 連「PTA's キッチン」、静岡市 P 連「親子模型フェス」、岐阜県 P 連「岐阜県 PTA フォーラム in せき・みの・ぐじょう」がビデオで紹介された後、来年の日 P 全国大会石川大会実行委員長の宇田氏、前述の親野氏の間でパネルディスカッションが繰り広げられた。

### ●記念講演

「ウェルビーイングを社会に広げることの大切さ ～学びを振り返り、今こそ一歩踏み出す決意の瞬間を楽しもう！～」

→参加者がそれぞれ「個人宣言」をまとめていけるよう、EVOL 株式会社代表の前野氏が、講演を通してサポート。次の一歩を踏み出すうえで何が必要なのか。幸せを感じている人に見られる4つの因子「やってみよう」「ありがとう」「ありのままに」「なんとかなる」が紹介された。まとめた個人宣言は、参加者同士、グループで共有。何名かは 2 日間を通じた会のファシリテーター(堀潤、塩沢節子)がマイクを持ってインタビュー。会場に発表した。